

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)9222
担当部課名	保健福祉部	地域福祉	課	民生 班
事務事業名	慰霊塔維持管理費		事業コード	18110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第-8章	国際平和と人権が尊重される社会を実現します	事業開始年度 ▼ 年度
基本施策名	第1節	世界とともに生きる地域社会の実現	
施策名	第1施策	国際平和への貢献	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市慰霊塔設置に関する条例
-----------------

3 事業概要

(1) 事業の目的 戦没者を合祀し、その霊を弔慰する慰霊塔等の円滑・適正な維持管理を行うことで、市民の平和思想の普及に寄与する。		(2) 対象(誰、何) 戦没者及び戦没者遺族 近隣住民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容 (主な内容) 維持管理にかかる委託料 ・慰霊塔管理委託(清掃等) ・管理事務所機械警備委託 ・慰霊塔樹木剪定委託 維持管理にかかる修繕料、役務費 ・慰霊塔境内手摺修繕、壁面修繕(落書き) ・施設賠償保険  総事業費 5,383千円 需用費 1,476千円 役務費 116千円 委託料 3,791千円		(4) 総合計画・実施計画における概要 平和意識の普及、啓発を図るなど、国際平和に貢献します。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	参拝者増加率		
指標式	各年度の水道使用量/前年度の水道使用量×100 (H14年度の計算式: 174m3 / 161m3 × 100)		
指標設定の意図	慰霊塔内の水洗トイレの利用者を成果指標と設定し、水道量の増加率を表したものの。		

5 目標と実績

[金額単位: 千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	1.6	1.2	a 1.1	b 1.2	1.2	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	4,270	4,055	5,383	5,549	5,117
	人員・時間数	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
	人件費	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	6,370	6,155	7,483	7,649	7,217
特定財源	1	1	1	2	2	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 90.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{1.1}{1.2} \times 100 = 90.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	今後も適切な管理を続け、気軽に参拝できる施設として維持していく必要がある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	戦争の記憶が風化していく中で、戦没者の合祀を行い、霊を弔慰するシンボルとしての慰霊塔を維持管理していくことは、より重要性を増すとされる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	最小限の費用で維持管理に努めている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	事業の代替性はないが、戦没者遺族及び周辺住民等の意見を取り入れながら管理していく必要がある。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	周辺住民の憩いの場としても利用され、十分な活用が図られており満足は得られていると思われる。ただし、苦情なども若干あり今後も必要な対応はとっていくべきである。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A : 有効である	理由 :	上位の施策を実現するための事業として直接的な影響はないが、慰霊塔を適正に維持管理していくことは平和思想普及に寄与するものと思われる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 慰霊塔が設置されている歴史的な背景を周知すること等で平和思想の普及につながり参拝者が増加する可能性はある。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 修繕費、樹木剪定にかかる経費等をより計画的、効率的に執行することで、経費の圧縮していくことは可能である。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	経費を最小限に抑えた中で、施設を維持管理していくことは可能である。今後については、たとえば樹木保全について将来を見据えた計画的な管理を行なう等、従来の方法を検討していくことも必要である。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--